

(3) 教育実習について

教育実習は、教育職員免許法施行規則第6条の規定に基づき、教職を希望する方が学校教育の場において学んだ知識や理論をいかして、実践的な知識・技能・姿勢を培うための必修科目です。

1) 教育実習受講の流れ

実 習 前 年 度	4月	次年度実習の案内通知（確認書・希望調査等）
	5月	確認書の提出および希望調査申込締切
	5月～10月	教育実習希望校へ依頼
	10月中旬	教育実習内諾通知書提出締切
実 習 年 度	3月	実習要件単位数を満たしているか確認
	4月	「教育実習事前指導」スクーリング受講（誓約書の提出）
	5月～11月	教育実習（時期は実習校と相談すること、期間は2週間または4週間）
	8月 or 2月	「教育実習事後指導」スクーリング受講 ※実習時期が5月～7月の方は8月に受講、9月～11月の方は2月に受講

2) 受講資格について

教育実習の実施にあたって、本学では以下の事項を教育実習実施要件とし、誓約書の提出をしてもらいます。

- ①教育実習実施の前年度3月末までに、認定単位を含め76単位以上を修得していること。
- ②教育実習実施の前年度3月末までに、本学で定める校種別の実習要件を満たしていること。
（下記「3）学校種別の実習要件について」に詳細を記載）
- ③資質・能力に優れ、教職につく意志の強固な方。
- ④実習校の正常な教育活動を妨げる恐れのない方。
- ⑤実習校に勤務中でないこと。
- ⑥伝染病疾患のない方。
- ⑦妊娠中でない方。
- ⑧教育実習事前指導を受講し、担当教員が教育実習実施に十分な知識・技能・姿勢等が備わっていると判断した方。

3) 学校種別の実習要件について

各学校種(教科)それぞれについて、実習に行くための要件が異なります。

実習前年度までに、A・B・Cそれぞれのグループから必要単位数以上修得しておくこと。

幼稚園

グループ	選択科目群	必要単位数
A	「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」「発達心理学」 「特別支援教育論（初等）」「教育課程論」「子ども子育て教育相談」 「教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）」	12単位以上
B	「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」	4単位以上
C	「保育内容「健康」指導法」「保育内容「人間関係」指導法」 「保育内容「環境」指導法」「保育内容「言葉」指導法」 「保育内容「造形表現」指導法」「保育内容「音楽表現」指導法」 「保育内容「身体表現」指導法」	8単位以上

□小学校□

グループ	選択科目群	必要単位数
A	「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」 「特別支援教育論」「道徳教育の理論及び指導法」 「総合的な学習の時間の指導法（初等）」「特別活動の指導法」 「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」 「生徒指導・進路指導論」「教育相談（初等）」	12 単位以上
B	「言葉の理解」「社会の理解」「数の理解」「自然の理解」「生活の理解」 「音楽の理解」「美術の理解」「衣・食・住の理解」「運動・健康の理解」 「英語の理解」	4 単位以上
C	「国語科教育法」「算数科教育法」	4 単位(必修)
	「理科教育法」「音楽科教育法」「図画工作科教育法」「家庭科教育法」 「体育科教育法」「小学校英語科教育法」	4 単位以上

□中学校・高等学校(英語)□

グループ	選択科目群	必要単位数
A	「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」 「特別支援教育論」「道徳教育の理論及び指導法」 「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」 「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」 「生徒指導・進路指導論」「教育相談（中等）」	10 単位以上
B	「英語文法」「上級オーラルコミュニケーションⅠ(発展)」	4 単位(必修)
	「上級英語文法」「上級英語」「映画とテレビの英語」「英語文学」 「英語文学史」「上級オーラルコミュニケーションⅡ(実践)」 「英語のリズムとイントネーション」「時事英語」 「異文化コミュニケーション論」「比較文化論」「国際関係論」「時事問題」	6 単位以上
C	「英語科教育法Ⅰ(基礎)」「英語科教育法Ⅱ(応用)」	4 単位(必修)

□中学校・高等学校(数学)□

グループ	選択科目群	必要単位数
A	「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」 「特別支援教育論」「道徳教育の理論及び指導法」 「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」 「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」 「生徒指導・進路指導論」「教育相談（中等）」	10 単位以上
B	「代数学Ⅰ」「幾何学Ⅰ」「解析学Ⅰ」「コンピュータ演習Ⅰ」	8 単位(必修)
	「代数学Ⅱ」「代数学Ⅲ」「幾何学Ⅱ」「幾何学Ⅲ」「解析学Ⅱ」「解析学Ⅲ」 「確率論」「統計学」「コンピュータ演習Ⅱ」	2 単位以上
C	「数学科教育法A」「数学科教育法C」	4 単位(必修)

はじめに

出願にあたって

募集概要
正科生(1年次入学)

募集概要
正科生(2年次編入学)

募集概要
正科生(3年次編入学)

募集概要
科目等履修生

募集概要
特別科目等履修生

募集概要
特修生

各種教員免許状・資格の取得について

よくある質問

出願書類記入例

●他校種の免許状を所有している場合●

他の学校種の普通免許状の授与を受ける資格が有ることにより充当できる単位は、本学の教育実習の要件において、修得済みであるとみなされます。よって、他校種の免許状を有している場合は、前頁実習要件にある必要単位数が減ります。

ただし、充当する元の単位を修得せずに免許状を取得した場合は、この限りではありません。

〈例〉中学校教諭一種免許を取得済みの方が、小学校教諭一種免許を取得する場合

小学校実習要件のAグループより「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」「教育相談(初等)」は修得済みとみなされます。(充当する元の単位を同じ科目区分で修得していることを前提とする。)よって、Aグループの要件は以下のようになります。

グループ	選択科目群	必要単位数
A	「教育の思想と原理」「教職入門」「教育心理学」 「特別支援教育論」「道徳教育の理論及び指導法」 「総合的な学習の時間の指導法(初等)」「特別活動の指導法」 「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」 「生徒指導・進路指導論」「教育相談(初等)」	12 単位以上



グループ	選択科目群	必要単位数
A	「特別支援教育論」「道徳教育の理論及び指導法」 「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」 「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」「生徒指導・進路指導論」	4 単位以上

※BグループおよびCグループの要件は変わりません。

●他大学で修得した教職課程の単位がある場合●

他の大学等で教職課程の科目の単位を修得しており、その単位を本学における教育実習受講の要件として活用したい場合は、(編)入学後、所定の締切日までに「既修得単位振替認定申請」を行ってください。単位を修得した大学における当該科目のシラバスを確認し、認定の可否が審査されます。本学の科目として認定された場合は、本学における教育実習の要件としてカウント可能です。ただし、申請された科目がすべて認定されるとは限りません。

4) 教育実習校の確保について

学校には、教育実習生を受け入れる義務は一切ありません。後輩の養成に協力しようというご厚意によって受け入れていただいています。したがって、実習校の確保は学生自身が責任をもって自己開拓することになります。謙虚な姿勢で依頼をしてください。実習校は、学生の出身校、最寄りの学校、縁故のある学校などと学生が直接交渉し確保してください。大学からの実習校の斡旋や紹介は行っておりません。

また、一部の公立学校では、特別な申請手続きが必要となり、個人で実習校の確保ができない場合があります。早い時期に実施希望地域の教育委員会、実習希望校の条件等を把握しておいてください。

【注意】 学校勤務者(教諭・講師・事務職員・支援員・学童保育指導員等)の勤務校での教育実習実施は認められません。勤務校以外で実習校を確保してください。また、以前勤務していた学校や、親族が勤務している学校、定時制・通信制・単位制の学校での実習も原則認められません。

5) 必要単位(期間)について

教育実習は、実習校での30時間の勤務をもって1単位とし、実習校の教職員と同じ勤務時間を服務することとしています。各教員免許状における必要単位数と実習期間は下表のとおりです。

取得希望免許状	必要単位数	内訳	実習期間
幼稚園教諭一種・二種	5単位	教育実習事前・事後指導 1単位 教育実習Ⅰ(幼稚園) 2単位 教育実習Ⅱ(幼稚園) 2単位	4週間 (20日間)
小学校教諭一種・二種	5単位	教育実習事前・事後指導 1単位 教育実習Ⅰ(小学校) 2単位 教育実習Ⅱ(小学校) 2単位	4週間 (20日間)
中学校教諭一種・二種	5単位	教育実習事前・事後指導 1単位 教育実習Ⅰ(中学校・高等学校) 2単位 教育実習Ⅱ(中学校) 2単位	4週間 (20日間)
高等学校教諭一種	3単位	教育実習事前・事後指導 1単位 教育実習Ⅰ(中学校・高等学校) 2単位	2週間 (10日間)

※本学では、中学校の教育実習は、4週間(20日間[1日6時間])を基本としていますが、実習校によっては、3週間(15日間[1日8時間])となる場合があります。

※実習は連続した期間で行うこととし、分割しての教育実習は認められません。ただし、中学校と高校の両方の免許を取得する場合は、中学校2週間+高校2週間の教育実習でも構いません。

※他校種の免許状を取得するにあたり、既に所有している教員免許状に係わる教育実習の単位を一部流用することができます。その場合は、本学での教育実習の単位は3単位(事前事後指導1単位を含む)、実習期間は2週間となります。

※教職経験がある方は、教職経験1年につき1単位の割合で「各教科の指導法」又は「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をもって振り替えることができます。詳しくは各都道府県教育委員会に確認してください。

6) 実習の時期と単位認定日について

教育実習の単位は、「教育実習事後指導」のスクーリングを受講した学期末に認定されます。単位認定日を考慮して実習時期を調整してください。

履修登録学期	実習時期	事後指導	単位認定日
春学期	5月上旬～7月中旬	7月下旬～8月	9月中旬
秋学期	9月上旬～1月下旬	1月下旬～2月上旬	3月中旬

7) 教育実習にかかる費用について

項目	金額	備考
教育実習履修費	¥20,000	2単位(2週間実習の場合)
	¥40,000	4単位(3～4週間実習の場合)
スクーリング受講費	¥10,000	「教育実習事前・事後指導」のスクーリング受講費として
教育実習委託費	¥20,000程度	実習校が定める委託費。 実習校へ支払いをするため、返金不可。
教育実習費	¥2,000程度	